



2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2026年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社Speee
 コード番号 4499 URL <https://speee.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大塚 英樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 西田 正孝 (TEL) 050-1748-0088
 半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	8,164	△0.8	△420	ー	△472	ー	△404	ー	△622	ー
2025年9月期中間期	8,227	7.5	36	51.6	47	△15.3	102	△12.9	△132	ー

(注) 包括利益 2026年9月期中間期 △622百万円 (ー%) 2025年9月期中間期 △132百万円 (ー%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	△54.19	ー
2025年9月期中間期	△12.18	ー

(注) 1. EBITDA=税金等調整前中間純利益+支払利息+減価償却費
 2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、潜在株式が存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	13,651	6,858	50.2
2025年9月期	14,813	7,289	49.2

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 6,855百万円 2025年9月期 7,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2026年9月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2026年9月期（予想）	ー	ー	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	3.4	△1,704	ー	△1,698	ー	△2,079	ー	△181.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有
新規 3社 (社名) 株式会社Spiral Partners、株式会社Spark Nova、株式会社Advanced Strategy & Consulting

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期中間期	11,563,000株	2025年9月期	11,494,750株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	18,595株	2025年9月期	13,965株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年9月期中間期	11,486,040株	2025年9月期中間期	10,916,567株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「解き尽くす。未来を引きよせる。」をミッションとし、創業以来培ってきた、データ分析能力とテクノロジーを活かして、多様な産業領域のデジタルトランスフォーメーションを推進しております。具体的には、デジタル化が進んでこなかった市場において生活者（消費者）と事業者を、デジタル化を通じて最適な形でマッチングすることを目指すレガシー産業DX事業、データの利活用によって企業のマーケティングを高度化することを目指すDXコンサルティング事業及びステーブルコインを用いた国際送金ソリューション開発を行う金融DX事業を運営しております。

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、景気は緩やかな回復基調にあるものの、世界的な金融引き締めや情勢不安、物価高騰などにより、依然として不透明な状況が続いております。このような状況下、当社グループを取り巻く事業環境においては、企業のDX推進ニーズは引き続き高く、当社サービスに対する需要は一定水準で推移いたしました。

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの経営成績は、売上高8,164,101千円（前年同期比0.8%減）、営業損失420,379千円（前年同期は営業利益36,895千円）、経常損失472,199千円（前年同期は経常利益47,348千円）、親会社株主に帰属する中間純損失622,445千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失132,909千円）となりました。

なお、当社グループでは、事業基盤の強化や拡大を積極的に目指していく中、各国の会計基準の差異にとらわれることなく企業比較が可能なEBITDA（税金等調整前中間純利益＋支払利息＋減価償却費）を経営指標として重視しており、当中間連結会計期間のEBITDAはマイナス404,104千円（前年同期はEBITDA102,293千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

また、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

①レガシー産業DX事業

「不動産DX」「リフォームDX」などが属するレガシー産業DX事業においては、売上高は5,568,044千円（前年同期比0.2%減）となった一方、セグメント利益は674,560千円（前年同期比12.3%増）となりました。これは集客効率の最適化に伴いユーザー獲得数は減少した一方で、ユーザー獲得後の遷移率と平均単価が改善したことにより、収益性が改善したためです。

②DXコンサルティング事業

DXコンサルティング事業は、提供ソリューションの多様化を推進した結果、案件数は前年比で減少、顧客単価は前年比で上昇し、売上高は2,596,057千円（前年同期比1.9%減）となりました。またセグメント利益は、人員及びAIに関する先行投資を実行したことに伴い、844,209千円（前年同期比22.4%減）となりました。

③金融DX事業

金融DX事業においては、ステーブルコイン事業およびトークン化預金関連事業について、積極的な投資を継続・拡大いたしました。

当連結会計年度においては、売上高一千円（前年同期は一千円の売上高）、セグメント損失は822,359千円（前年同期は518,321千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は11,870,263千円となり、前連結会計年度末に比べ1,152,694千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1,457,943千円減少したことによるものであります。固定資産は1,781,250千円となり、前連結会計年度末に比べ9,768千円減少いたしました。これは投資その他の資産が11,858千円増加、有形固定資産が10,301千円減少、無形固定資産が11,325千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、13,651,513千円となり、前連結会計年度末に比べ1,162,463千円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は4,002,165千円となり、前連結会計年度末に比べ208,446千円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が224,943千円減少したことによるものであります。固定負債は2,791,205千円となり、前連結会計年度末に比べ522,427千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が522,831千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、6,793,370千円となり、前連結会計年度末に比べ730,874千円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は6,858,143千円となり、前連結会計年度末に比べ431,588千円減少いたしました。これは主に、資本金が95,481千円増加、資本剰余金が95,481千円増加、親会社株主に帰属する中間純損失の計上により利益剰余金が622,445千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.2%（前連結会計年度末は49.2%）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は7,937,292千円となり、前連結会計年度末に比べ1,457,943千円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、655,411千円（前年同期は156,774千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失472,199千円、売上債権の増加額163,967千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、54,651千円（前年同期は57,615千円の使用）となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出35,122千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、747,880千円（前年同期は1,984,089千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出747,774千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想については、2025年11月14日に公表した内容から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,395,236	7,937,292
受取手形及び売掛金	3,084,137	3,248,105
その他	628,076	782,092
貸倒引当金	△84,492	△97,227
流動資産合計	13,022,957	11,870,263
固定資産		
有形固定資産	368,529	358,227
無形固定資産		
ソフトウェア	47,345	36,276
その他	1,961	1,704
無形固定資産合計	49,306	37,980
投資その他の資産	1,373,183	1,385,042
固定資産合計	1,791,019	1,781,250
資産合計	14,813,976	13,651,513
負債の部		
流動負債		
買掛金	582,586	643,801
1年内返済予定の長期借入金	1,370,568	1,145,625
未払金	1,130,495	1,157,931
未払法人税等	87,674	126,759
賞与引当金	393,148	354,250
その他	646,139	573,797
流動負債合計	4,210,612	4,002,165
固定負債		
長期借入金	3,130,531	2,607,700
資産除去債務	168,851	169,481
賞与引当金	14,250	12,072
その他	—	1,951
固定負債合計	3,313,632	2,791,205
負債合計	7,524,244	6,793,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,900,629	2,996,111
資本剰余金	2,940,639	3,036,121
利益剰余金	1,447,912	825,467
自己株式	△1,712	△1,819
株主資本合計	7,287,469	6,855,880
新株予約権	2,263	2,263
純資産合計	7,289,732	6,858,143
負債純資産合計	14,813,976	13,651,513

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	8,227,717	8,164,101
売上原価	1,623,470	2,052,653
売上総利益	6,604,247	6,111,448
販売費及び一般管理費	6,567,352	6,531,827
営業利益又は営業損失(△)	36,895	△420,379
営業外収益		
受取利息	2,463	11,887
還付消費税等	4,932	5,888
その他	22,438	3,756
営業外収益合計	29,834	21,532
営業外費用		
支払利息	3,970	22,749
株式交付費	14,315	—
支払補償費	—	45,412
その他	1,094	5,189
営業外費用合計	19,380	73,352
経常利益又は経常損失(△)	47,348	△472,199
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	47,348	△472,199
法人税、住民税及び事業税	164,031	85,161
法人税等調整額	16,227	65,084
法人税等合計	180,258	150,246
中間純損失(△)	△132,909	△622,445
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△132,909	△622,445

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純損失(△)	△132,909	△622,445
中間包括利益	△132,909	△622,445
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△132,909	△622,445

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	47,348	△472,199
減価償却費	50,974	45,345
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,094	12,734
賞与引当金の増減額(△は減少)	382	△41,075
受取利息	△2,463	△11,887
為替差損益(△は益)	△1,269	625
支払利息	3,970	22,749
株式交付費	14,315	—
支払補償費	—	45,412
投資事業組合運用損益(△は益)	1,094	—
売上債権の増減額(△は増加)	△79,659	△163,967
仕入債務の増減額(△は減少)	161,840	61,214
未払金の増減額(△は減少)	504,711	26,914
その他の資産の増減額(△は増加)	△162,055	△7,636
その他の負債の増減額(△は減少)	△21,508	△144,046
未払消費税等の増減額(△は減少)	△131,711	62,933
その他	1,291	△355
小計	383,166	△563,238
利息及び配当金の受取額	2,463	11,887
利息の支払額	△3,964	△23,345
補償費の支払額	—	△45,412
法人税等の支払額	△224,890	△35,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,774	△655,411
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,702	△14,711
有形固定資産の売却による収入	—	231
無形固定資産の取得による支出	△44,265	△3,400
敷金及び保証金の差入による支出	△3,401	△35,122
敷金及び保証金の回収による収入	263	—
貸付けによる支出	△3,780	△3,540
貸付金の回収による収入	1,270	1,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,615	△54,651
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△528,075	△747,774
株式の発行による収入	2,513,154	—
自己株式の取得による支出	△990	△106
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,984,089	△747,880
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,083,248	△1,457,943
現金及び現金同等物の期首残高	4,988,577	9,395,236
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,071,826	7,937,292

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	レガシー産業DX	DXコンサルティング	金融DX	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,580,025	2,647,692	—	8,227,717	—	8,227,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,058	—	5,058	△5,058	—
計	5,580,025	2,652,750	—	8,232,776	△5,058	8,227,717
セグメント利益 又は損失 (△)	600,532	1,087,385	△518,321	1,169,596	△1,132,701	36,895

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,132,701千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	レガシー産業DX	DXコンサルティング	金融DX	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,568,044	2,596,057	—	8,164,101	—	8,164,101
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	16,574	—	16,574	△16,574	—
計	5,568,044	2,612,632	—	8,180,676	△16,574	8,164,101
セグメント利益 又は損失 (△)	674,560	844,209	△822,359	696,410	△1,116,789	△420,379

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,116,789千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。